あなぶき不動産流通

福山駅周辺の再開発事業について

現在、コロナウィルスの影響により人々の生活様式は大きな変化を伴い、予てより進められていた駅前ホテル建設計画も変更を余儀なくされています。福山駅は新幹線の「のぞみ」が停車することから備後県の玄関口として利用者増加への期待を含め各事業者がホテル事業に積極的に参加をしていましたが、コロナ禍で移動が制限される中、ホテルの需要が当初の見込みより落ち込むことが想定され、急遽ホテルの代わりにオフィスを計画する案も考えられています。JR 西日本が手掛ける福山駅北口に建設する複合施設も、ホテルを中止に代案について市と協議をしています。当社グループ会社である穴吹興産が共同事業として行うキャスパ跡地の再開発事業は、住居・オフィス・商業施設・ホテルを備えた複合施設を 2023 年の完成を目標にしていますが、こちらも当初の予定から変更を検討しています。ホテル業界の先行きが不安視される中、住居である駅前分譲マンションは依然人気があり、販売も好調に推移しております。中古市場に置きましても、コロナ禍による所得の減少が不安視される中、駅前をキーワードとして積極的にお取引が行われています。私共穴吹不動産流通は、不動産を売りたいお客様と買いたいお客様を繋げるお手伝いを致します。不動産に関する各種ご相談は、穴吹不動産流通福山店までお気軽にご連絡ください。